

岡山県愛の献血助け合い運動

～助けたい思いが届く献血で～

岡山県では、7月・8月を「岡山県愛の血液助け合い運動」月間と定められています。

7月3日、岡山県赤十字血液センターで開催されたオープニング行事に1年生が参加させていただきました。キャラバン隊隊長の2名が献血推進の決意表明をしました。キャラバン隊として献血の必要性をご理解いただくため、岡山市・倉敷市の高校や専門学校に出向き呼びかけを行いました。



この運動が夏に行われているのは、夏に血液が少なくなるからだとなりました。（学生A）



血液供給・保管システム について見学をしました

血液センターの方々が責任を持って血液を必要としている方へ届けていると分かり感動しました。（学生B）



保管されている血液製剤
を見せていただきました

血漿製剤用冷凍庫

血液の成分によって保存方法が違い、温度管理を徹底していてすごいと思った。血漿製剤の冷蔵庫に入ってみて、
厳重な管理のもとで保管されていることが分かりました。
（学生C）

開放厳禁

供-F-9

供-F-10

供-F-11

注意！



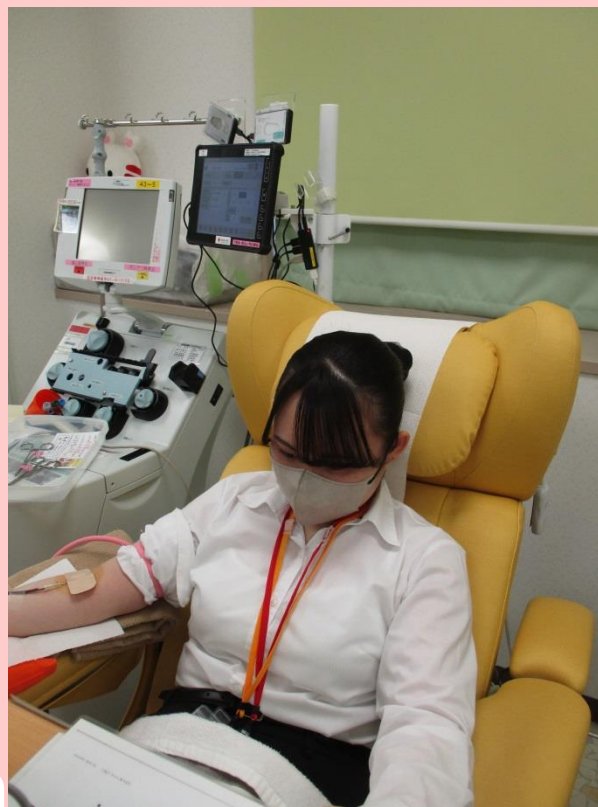
血小板製剤は、光に透かすと血液の
成分が見えるのです！



献血ルームうららにて
献血をおこないました



献血を行う前に、説明を
受けています



献血した血液が、多くの人に支えられて、輸血を待つ患者さんのもとへ届くことが分かり、若い世代がもっと献血に協力してくれるように行動していこうと思った。(学生D)

献血をする若者の数が減っていると知り、自分も献血に参加して少しでも誰かの役に立ちたいと思った。(学生E)

血液が余ったり、処分にならないように近隣の県と連携していることを初めて知り驚いた。(学生F)

はじめて献血と骨髄バンクドナー登録をしてみて、不安もあったけどお医者さんも看護師さんも優しく、不安が和らぎました。(学生G)

キャラバン隊をはじめ、全員で献血の大切さを考え直すことができました。(学生H)



献血は人の命につながるボランティアです。
ぜひ皆様のご協力を宜しくお願いします！

